

リサイクルチェア-座り心地に御記憶ありませんか

ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科

内田 祥士 教授 Yoshio Uchida



研究概要 戦後大量生産された高等教育用跳上式机椅子の素材（曲ベニヤ）をダイニングチェアとしてリサイクルする研究

研究シーズの内容



一般教室で過日よく見かけたこの机椅子(左上)、今、正に大量廃棄の過程にある高等教育用跳上式机椅子の素材(曲ベニヤ)を潤沢に用いて、一般家庭用のダイニングチェアとして、リノベーションしようという計画です。殆ど無価値の廃棄物の様に見えますが、実は、背板も座板も曲ベニヤ製です。しかも、初期の製品は、日本の櫛(ブナ)が使われていました。古い、従って、今や疲れ切ったかに見える机椅子こそ、今は、もう資源としては枯渇してしまった日本櫛の古材という訳です。素材としても貴重な筈のこの椅子を、私達は、近年、大量に捨てているという訳です。右端の椅子は、私が、実に5回目の試作でたどり着いた、リサイクルチェアの最新作(No.5)で、昨年の「木材を使った家具のデザインコンペ2016」で入選を果たした作品です。もし、何処かで、廃棄をお考えの教育機関があれば、食堂用にリサイクルしてみませんか。見事な椅子に変身し、多くの思い出と共に、残すことが出来ます。

勿論、全く、座り心地のことなる新しい椅子です。しかし、ここは、敢えて、「座り心地に御記憶ありませんか」と御勧めしたいと考えた次第です。

研究シーズの応用例・産業界へのアピールポイント

誰もが一度は座った経験のある高等教育用跳上式机椅子を、全く座り心地の異なる椅子にリサイクル出来る事実を、試作品を通して実証し、家具のリノベーションの可能性を広げる。

特記事項(関連する発表論文・特許名称・出願番号等)

「木材を使った家具のデザインコンペ 2016」に「座り心地に御記憶ありませんか」で入選